※令和３年度以前入学生用

学校番号	1208

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史Ａ　現代からの歴史(東京書籍)						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史Ａでは、幕末(江戸末期)から近現代(昭和や平成)までの歴史を取り扱います。大きな流れとして「幕末から明治維新を通して日本はどのように変わったか。」「なぜ太平洋戦争のような凄惨な戦争が起きたのか。」「戦後、どのように復興し成長したのか。」の３つに分けることができます。これらのテーマに沿って歴史の流れを確認しながら、当時の政治家、思想家の考え方や生き方、経済や市場の特徴、現代の国際情勢に繋がる原因等の考察を行います。

２　学習の到達目標

・近現代を中心に学び、現在の私たちの社会がどのように形成されてきたのかを理解させる。
・歴史に関心を持ち、学びの中から現代社会の問題を多面的・多角的に考察する力を養う。
・歴史的事象の背景や原因を知り、現代の課題や問題に向き合う力を養う。
・「どうしてそうなったのか。」という疑問を通して、多面的・多角的な視点を持たせる。
・歴史的事象に当事者意識を持たせ、主体的に現在の日本の在り方を考えさせる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、主体的に学び、国家・社会を形成する日本国民としての自覚を持つ。	歴史的事象から課題を見いだし、我が国形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、多面的・多角的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・授業プリント ・振り返りシート	・定期考査 ・授業プリント ・振り返りシート	・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・授業プリント ・振り返りシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1章　近代日本の形成	・国際情勢の変化と明治維新 ・明治新政府の諸改革 ・立憲国家の成立	○ ○ ○	○ ○ ○	○	 ○ ○	a: 新しい時代を迎えた日本国内の情勢や世界との関係について意欲的に追求できる。 b: なぜペリー来航が、幕藩体制を崩すきっかけとなったのか、また国会開設に至る過程を多角的に考察し、その結果を適切に表現できる。 c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りや図表にまとめることができる。 d：明治新政府の成立を中心に、近代国家への歩みを理解し、その知識を身につけている。	授業プリント 定期考査
	第2章　東アジア世界の変動と日本	・日清戦争と現代社会の確立 ・日露戦争と帝国日本の形成	○	 ○	○ ○	○ ○	a:各国の主張や思惑に関心を持ち深めようとする。 b：第一次世界大戦が日本と中国に与えた影響について考察し、その過程と結果を適切に表現できる。 c：必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りや図表にまとめることができる。 d：欧米列強の帝国主義と、日本資本主義の成長を、戦争と関連づけて理解している。	授業プリント 定期考査
2学期	第3章　二つの世界大戦と日本	・第一次世界大戦と帝国日本 ・政党政治の時代 ・軍国日本への道 ・太平洋戦争	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ 	a：悲惨な戦場や当時の人々の生活に関心を深めようとする。 b：当時の国際社会と日本がどのような関係だったか多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c：必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りや図表にまとめることができる。 d：軍国主義が招いた結果や当時の政府の体制、政治的判断の正否について正しい知識を身につけている。	授業プリント 定期考査

※令和３年度以前入学生用

	第4章　第二次世界大戦後の国際社会と日本	・現代世界の開幕と日本の戦後改革 ・高度経済成長の時代	 ○	○ 	○ ○	○ ○	a：日本国憲法制定に関わる、ＧＨＱと政府の折衝について、関心を深めようとする。 b：なぜ日本は経済大国として発展できたのか、日本人の国民性や働き方から分析し、その結果を適切に表現できる。 c：必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りや図表にまとめることができる。 d：再建を後押しする国際情勢と日米関係、また日本国憲法の内容について、その知識を身につけている。	授業プリント 定期考査
３学期	第5章　現代の世界と日本	・国際秩序のゆらぎと経済大国日本 ・冷戦の終焉と日本	○ ○	○ ○		○ ○	a：現代の政治と経済の問題点を考え、その改善点について意欲的に追求できる。 b：現代社会で、歴史で学び感じたことをどう生かすのかを考察し、適切に表現できる。 c：必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りや図表にまとめることができる。 d：世界との経済的な関係性、日本の政治的な立場や役割を把握し、その知識を身につけている。	授業プリント 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。